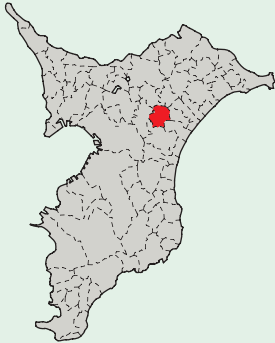


“ 高収益作物の導入で経営改善 ”

千葉県山武町



鈴木 武芳 氏

〔千葉県山武町〕

受賞理由

かんがい用水利用による高収益作物の導入
流通体制整備による生産コストの低減及び経営の合理化
国営事業の推進

高収益作物の導入

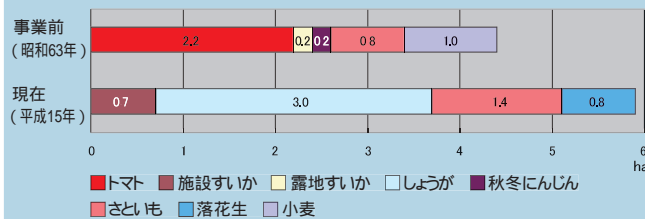
国営北総中央地区(S 63 ~)は、千葉県北部に広がる北総台地に位置する受益面積4,132haの農業地帯で、水田及び畑へのかんがい用水の確保を目的に事業を実施しています。

鈴木氏はかんがい用水に一早く着目し積極的に導入を図りました。

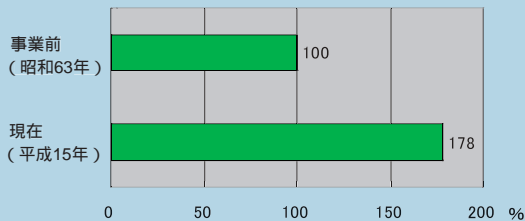
国営事業実施以前の昭和52年に畑地かんがい施設が整備（野菜生産安定対策事業）されたことを契機に、施設すいかや施設トマト、菊等の高収益性の作物を導入しました。農業粗生産額も以前に比べ7割以上増加しました。

また、地域の担い手不足等により発生した遊休農地について、土地利用集積を積極的に進め、経営規模の拡大を図る等、率先して農業経営の改善に取り組んでいます。

鈴木氏の作付け面積の対比



鈴木氏の農業粗生産額の対比



地域リーダーとして事業推進

かんがい用水を用いた高収益作物栽培にいち早く着目し、地域をリードすることで、山武町の施設すいか、施設トマトの作付け拡大に大きく貢献しています。このようなことから、農業用水の安定確保を図る国営事業の推進にあたり、昭和63年より北総中央用水土地改良区総代を歴任し、地域のリーダーとして重要な役割を果たしています。

選果場の整備

丸朝園芸農業協同組合の活動において、地域農産物の流通体系の整備と地域農家の出荷作業の軽減に取り組み、他の産地と競合しないための栽培時期の調整と新たな販路の開拓を行いました。さらに、廃プラスチック等の農業廃材の適正処理も可能な、環境にも配慮した大型選果場「BIG SUN」（H10年完成）の建設を推進し、地域農業の活性化に尽力しています。



トマトの栽培施設

